

# 港湾景観形成モデル事業

## 概要

港湾を人々に親しまれる場としていくために、それぞれの港湾がもつ景観資源(自然、歴史、ランドマーク等)を活用し、個性的かつ良好な空間の形成を図る。

## 事業の内容

・港湾緑地、防波堤、旅客ターミナル等の整備を効果的、複合的に組み合わせて実施。

## 整備例

青函連絡線が就航していた青函ふ頭を中心とする区域で、ベイブリッジや緑地を整備して賑わい空間を形成するとともに、八甲田連峰などの遠景との調和にも配慮している。

また、周辺には青森港の象徴であった青函鉄道連絡船を現状に近い形で保存・活用した港湾文化交流施設「メモリアルシップ八甲田丸」や青森県の観光及び物産のインフォメーション施設「観光物産館アスパム」が整備され、新たな賑わいの場となっている。



橋梁のランドマーク化と海上プロムナードからの景観形成(青森港)

# 歴史的港湾環境創造事業 瀬戸内・海の路事業

## 概要

今なお残る港湾の歴史を物語る石積みの防波堤や護岸等の歴史的港湾施設を港湾文化の貴重な財産として保全・活用しながら周辺地域を文化的で歴史的な薫りの漂う快適で潤いのあるウォーターフロント空間として形成を図る。

特に瀬戸内海に面した地域においては、豊かな自然と貴重な歴史的資源が数多く存在していることから、これら個々の歴史的資源を有機的、広域的に結びつけ、新たな交流圏を創造することにより瀬戸内海地域の一体化を図り、地域振興を推進する。

## 事業の内容

### 【歴史的港湾環境創造事業】

- ・港湾緑地の整備
- ・歴史的港湾施設の補修・復元

### 【瀬戸内・海の路事業】

- ・港湾緑地の整備
- ・歴史的港湾施設の補修・復元
- ・旅客船バース等の整備
- ・マリーナ等施設の整備

## 整備例

門司港発祥の地である西海岸地区では、明治45年に建設された旧門司税関の復元・保存を中心に第一船だまりなどの再整備を進め、今や「門司港レトロ地区」の一拠点として市民、観光客に親しまれている。



修復され、門司港レトロ地区の一角を占める旧税関（北九州港）

# 海道の旅(マリンロード)構想の推進

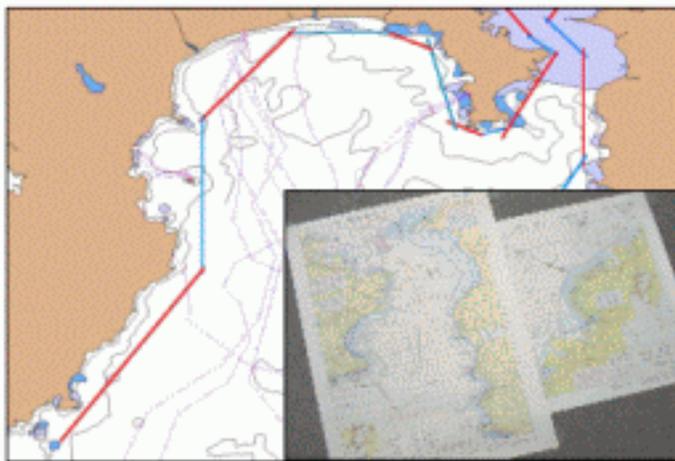
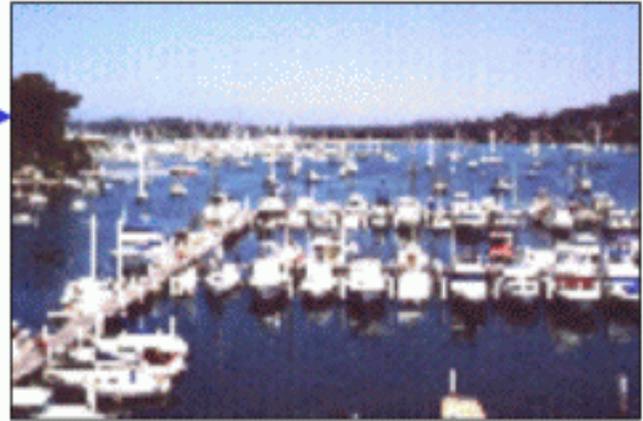
## 【概要】

マイカーでドライブに行くように海道を使って、安全に楽しくクルージングができる環境づくりを通じて、海や浜辺での事故を未然に防止するとともに、プレジャーボートの利用促進、港湾施設等の有効利用促進、海からの観光を拠点とした周辺地域の活性化を促す。

## 【具体的な施策】

### ○宿場町

寄港地として使用できるマリーナ、フィッシャリーナ等を宿場町として設定（地方自治体等地元関係者とも連携）

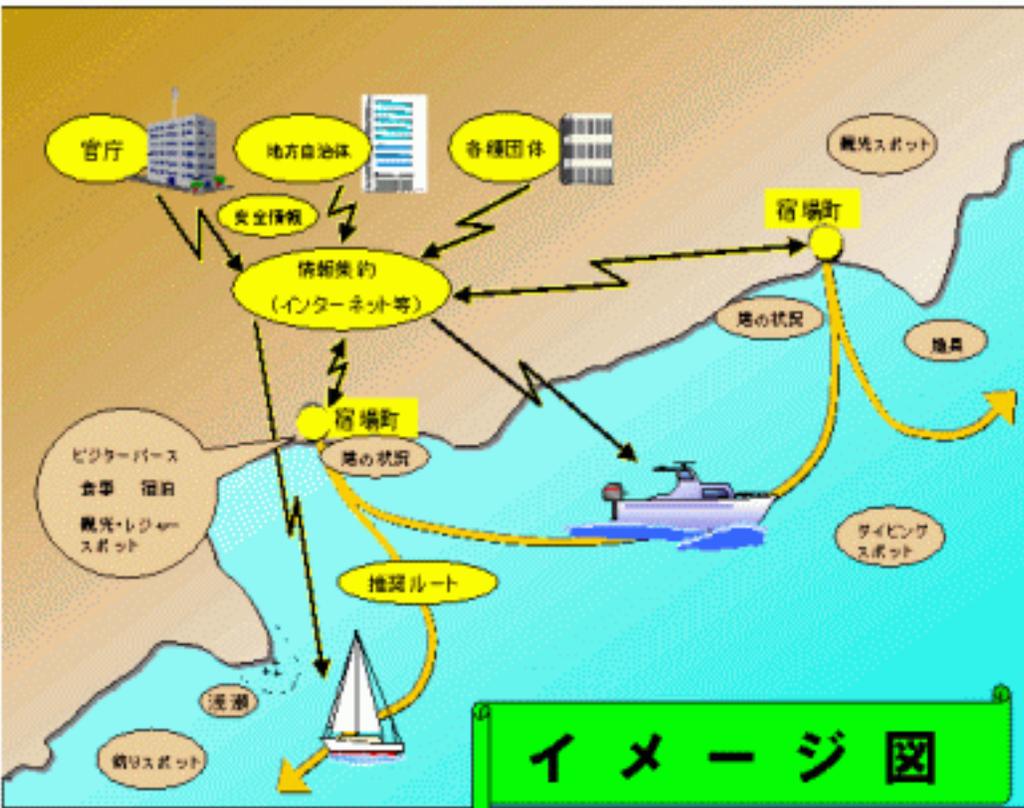
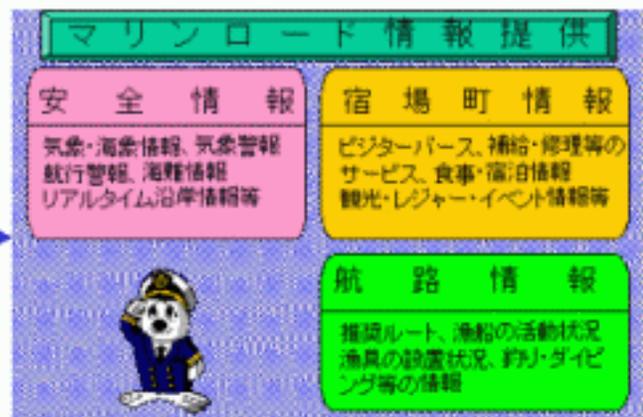


### ○クルージングマップ

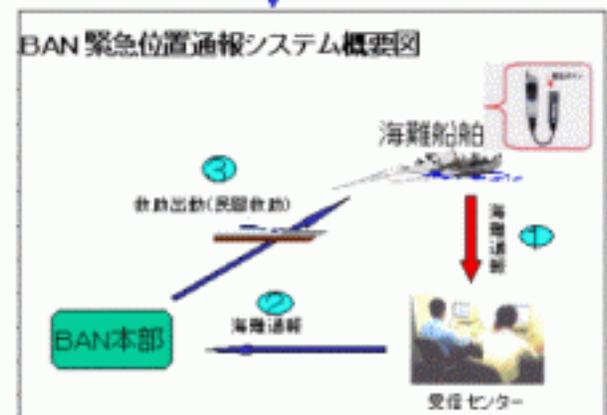
安全な航行のための推奨ルート等が記載された参考図の提供等

### ○情報提供

気象・海象等の安全情報、宿泊、観光情報等の利便情報をインターネット等により提供



### ○民間救助機関等による安全ネット迅速な救助を可能とするネットワークの構築



## 岬のオアシス構想

### 概要

地元自治体においては、岬の灯台を地域のシンボルとして位置付ける地域振興策が企画されており、灯台を活用した地元自治体が実施する公園化事業と連携する「岬のオアシス構想」を推進している。

岬のオアシス構想例（角島灯台 山口県）



# ボート天国

## 概 要

日頃、小型舟艇等が遊走することが困難な都市近郊の港湾内において、気軽にマリンレジャーを楽しむことができる機会を一般市民に提供することにより、安全思想の普及・高揚及び技術・マナーの向上を図る。

平成13年度は、全国21港で開催し、約90万人が参加した。

## 内 容

- ・ 海域の一般開放
- ・ レース（カッター、ヨット、カヌー、セイルボード）
- ・ 体験航海（モーターボート、ヨット、シーカヤック、巡視船艇）
- ・ 安全教室、カヌー教室、ヨット教室 等

